

③ 二元代表制

地方自治体では、首長と議会議員をとともに住民が直接選挙で選ぶ、という制度をとっています。これを二元代表制と言います。これに対して国では、選挙された議員で組織された国会が指名する内閣総理大臣が内閣を組織し、国会に対して責任を負う、という議院内閣制です。全然仕組みが違うのです。要するに、我々地方議会には市長与党なるものは存在してはいけません。市長も議員も全員、市民から直接選ばれているのです。新座市のように、市長が提出する「市長提出議案」には黙って、100%賛成する議員ばかりじゃあ、二元代表制での議会（議員）の存在価値は0になります。だって、そうでしょう。市長が決めたこと全てに賛成するんですから・・・黙って賛成するだけなら、誰にだってできます。そういう議員を選んだのも市民のみなさんですから、責任は議員だけにあるではありませんが・・・。議会ではぐっすり眠り、議会報告も書かず（眠っていたら書けない）、駅にも立たず（議会報告がないから立っても配るものがない）、選挙前になると「お願い」をする。どうか、そういう議員だけは選ばないでください。

③ 議員年金

たまにはいいお知らせも、この6月から我々の議員年金制度が廃止になる予定です。議員特権の一つである議員年金制度。3期 = 12年務め上げれば年金が貰えるという議員年金制度が無くなるのですから、めでたし、めでたしです。国会議員だろうが、県会議員だろうが、公務員だろうが、教師だろうが、特別に年金で優遇されるのはおかしい。僕はそう思っています。ただ、議員報酬が下がり、議員年金がなくなり、議員の待遇が悪くなれば、それなりに優秀な人は議員にはならないだろうなあ、とも思います。実は教員時代より先遥かに年収が減りました。それでも、あの時代より先自由になる時間が増え（家族と一緒にいられる）、新しい縁（ボランティア、駅立ちでの出会い等）も増えたので、仕事は楽しいです。「学級通信」に燃えていた僕が、「議員日記」や「議会報告」を続けていられるのも、今の仕事がやりがいのある仕事だからだと思います。

③ 笑顔



この写真は今から34年前の五中の1年3組の写真です。ど真ん中で髪の毛フサフサなのが私。そして、僕の周りには沢山の笑顔がいつもありました。この子達が初めて担任する1年生だったので、僕は可愛くて可愛くてしょうがありませんでした。中学生と言っても、1年生は小学生のようなものです。兔に角、毎日笑ってばかりいたのを覚えています。色々事件はあったのですが、楽しかった記憶がありません。そして、この子達が卒業する日は泣きました。最後の学活は泣きながら2時間以上やったのですから、別れの辛さは大変なものでした。僕はこの子達から「学校というところは、笑顔で出会って、そして涙で別れるところ」ということを学んだのです。僕のクラスだけでも東大、京大、外語大、鹿児島大と国立大学に4人も進学しました。勉強は県内でトップで運動部も強かったし、喧嘩も強かった？五中にもそういう時代があったのです。僕ら教師達が何をやるにも生徒と一緒に汗を流していた頃のお話です。僕が目指す「教育新座」はこの子達の笑顔が元になっています。

③ 川掃除

毎月第一日曜日に行っている黒目川の川掃除ですが、同じように毎月一日に川の周囲を掃除をしているボランティアグループがあることがわかりました。そこで第1週以外で流動的に行うことにしました。8月の第一日曜日の川遊びは例年通りですが、それ以外の月は第2週か3週あるいは4週で思っていますので、よろしくお願いします。たかやん